

地域マネジメント能力養成プログラム：講演会

ファンドレイジングが社会を変える

——共感と納得が地域に生み出す幸せの循環——

日時：2013 年 12 月 6 日(金)

[13:00~14:30]

場所：弘誓館 G101

このプログラムは、総合社会学科開講科目

「総合社会学入門Ⅱ」

12 月 6 日(金)の回に、実施します。

※この講義は「総合社会学入門Ⅱ」を履修していない方でも受講可能です。

講師 **speaker**



代表理事

鵜尾 雅隆 氏



Profile⇒ 91 年以降、日米インドネシアのさまざまなNPOの理事、運営委員などとして資金調達、起業顧客の開拓を経験。2004 年米国ケース大学 Mandel Center for Nonprofit Organizations にて非営利組織管理修士取得。同年、インディアナ大学 The Fundraising School 修了。2005 年帰国後、「ファンドレイジング道場」を立ち上げ、ファンドレイジングのノウハウや寄付事業の各国比較などを発信している他、講演、全国各地での研修、個々のNPO向けのファンドレイジング改善や戦略策定のコンサルティングなどを行っている。2008 年 7 月、ファンドレイジング専門のコンサルティング会社である株式会社ファンドレックスを創業。2009 年 2 月、日本ファンドレイジング協会の発足に携わり、常務理事に就任。2012 年 6 月より現職。著書に『ファンドレイジングが社会を変える』等。

1. 本講義の目的

今回の「総合社会学入門Ⅱ」では、「寄付」などのソーシャルマネーを提供する人々とそれを活用して社会課題を解決する組織とが「共感」と「納得」を通じて織りなす社会を築きあげることができるかどうかを探ります。両者をつなぐ人材として、近年、「ファンドレイザー」という職業が注目されています。そのファンドレイザーの資格制度を創設した日本ファンドレイジング協会の代表理事である鶴尾雅隆先生に講義をしていただきます。

2. 講義のポイント

- (1) 日本のソーシャルマネーの全体像と最新のトレンド
- (2) なぜ、今、ファンドレイジングなのか
- (3) 寄付の持つ可能性とファンドレイザーのこれからの役割

日本ファンドレイジング協会とは？

日本ファンドレイジング協会は、2009年に日本全国47都道府県から580人の発起人の賛同を受け、寄付10兆円時代の実現を目指して設立された協会です。民間非営利組織のファンドレイジング（資金集め）に関わる人々と、寄付など社会貢献に関心のある人々のためのNPOとして、認定ファンドレイザー資格制度やファンドレイジング・日本、寄付の教室の運営、寄付白書の発行などに取り組んでいます。<http://jfra.jp/>

地域公共政策士第1種プログラム「地域マネージャー養成プログラム」へ

今回の授業には、もう一つの性格(狙い)があります。それは、政府セクター、市場セクター、そして市民社会セクターの連携を実現させ、「協働型社会」の担い手である「地域公共人材」を考えることです。現在、文部科学省大学間連携共同教育推進事業「地域資格制度による組織的な大学地域連携の構築と教育の現代化」によって、「地域公共人材」を育成するための地域資格制度「地域公共政策士」プログラムが推進されています(龍谷大学を代表校にして、京都大学、京都府立大学、京都産業大学、京都橘大学、成美大学、同志社大学、佛教大学、本学、そして京都府・京都市、経済団体、NPOと連携した取り組みです)。

「地域マネージャー」に必要な能力、「地域マネジメント能力」=課題の発見と解決！

ファンドレイザーと地域マネージャー

- ・ファンドレイザーが寄付をする人とそれを受け取る人を結びつけるプロセスはどうあるべきか？
- ・ファンドレイザーはどのように資金を必要とするNPOを見つけ出すのか？NPOが直面する課題に応じて、ファンドレイザーはどのように資金を調達するのか？